

令和8年度

「運営に関する計画」  
自己評価(総括シート・目標別シート)

大阪市立銅座幼稚園

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

地域に開かれた幼稚園として、保護者・地域・幼稚園が連携し、子どもの健全育成に向け、就学前教育に取り組んでいる。

現状として、子どもたちは素直でいろいろな遊びや活動に興味をもち取り組もうとする姿や、身近な環境や事象に進んで関わろうとする姿が見られる。一方で、遊びが持続しにくかったり、自分の思いを表現しにくかったり、また、初めての活動に躊躇したりする姿も見られる。

そこで、園内や地域の豊かな環境を活用し、本園の特色を生かした主体性を育む教育活動を実践することにより、子どもたちの興味・関心・意欲を高め、生涯にわたる人格形成や小学校以降の教育の基礎を培えるようにしていきたいと考える。

地域とのふれあいや幼保小連携活動を積極的に行い、いろいろな人との関わりの中で思いやりの心を育み、小学校教育への円滑な接続を図るようにする。また、集団生活におけるきまりや防災・安全教育については、幼児期からその大切さと必要性に気付いて行動できるように、発達や実態に応じた指導を行い、家庭への啓発も行っていく。

以上のような内容について保護者・地域の理解を得ながら取り組み、共に子どもたちの成長を支えていくようにしたいと考える。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、防災・減災教育や安全教育に積極的に取り組んでいますか」の項目において、肯定的な回答を95%以上にする
- 令和11年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、子ども一人一人を大切に育てる教育に取り組んでいますか」の項目において、肯定的な回答を95%以上にする

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、子どもが主体的に活動できるような環境や指導を工夫している」の項目において、肯定的な回答を95%以上にする
- 令和11年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、基本的な生活習慣が身に付くような取り組みをしていますか」の項目において、肯定的な回答を95%以上にする

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和11年度の教員の1ヶ月あたりの平均時間外勤務時間を20時間以下にする
- 令和11年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は異年齢や地域の小学校をはじめとした地域の方々との関わりを生かした教育を推進していますか」の項目において、肯定的な回答を95%以上にする

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

**【安全・安心な教育の推進】****学校園の年度目標**

- 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、防災・減災教育や安全教育に積極的に取り組んでいますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする
- 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、子ども一人一人を大切に教育に取り組んでいますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】****学校園の年度目標**

- 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、子どもが主体的に活動できるような環境や指導を工夫している」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする
- 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、基本的な生活習慣が身に付くような取り組みをしていますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする

**【学びを支える教育環境の充実】****学校園の年度目標**

- 今年度末の教職員の1ヶ月あたりの平均時間外勤務時間を24時間以下にする
- 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は異年齢や地域の小学校をはじめとした地域の方々との関わりを生かした教育を推進していますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○ 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、防災・減災教育や安全教育に積極的に取り組んでいますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする</p> <p>○ 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、子ども一人一人を大切に教育に取り組んでいますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「警備および防災の計画」「安全対策マニュアル」「大規模災害時初期対応マニュアル」に基づき、災害時等に備えた訓練や指導等を実施する</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画に基づき、避難訓練を実施する。</li> <li>・安全点検簿を元に全教職員で施設や遊具などの安全点検を毎日行う。</li> <li>・写真掲示やホームページなどで、保護者啓発をする。(月1回以上)</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>一人一人の良さに気づき互いに認め合う子どもが育つよう、子どもの内面理解に努め指導を行う</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内委員会を行い、一人一人の子どもの実態や課題、支援の方向性などを共通理解する。(月1回)</li> <li>・巡回相談や地域支援、専門家による園内委員会などを活用し、指導に生かす。(年3回以上)</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後への改善点	

大阪市立 銅座幼稚園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○ 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、子どもが主体的に活動できるような環境や指導を工夫している」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする</p> <p>○ 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は、基本的な生活習慣が身に付くような取り組みをしていますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p style="text-align: center;">子どもの心が安定し、主体的に活動できるように環境や援助を工夫する</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修会を実施する（年3回以上）</li> <li>・教育課程に基づき、就学前教育カリキュラムを活用して週案を作成し、環境や援助の工夫について検討し合う。（月2回以上）</li> <li>・写真掲示やホームページなどで、保護者啓発をする。（週1回以上）</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p style="text-align: center;">基本的な生活習慣を身に付ける保健指導や食育指導を通して、自身の健康への関心を高める</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <p>年間計画に基づき、子どもの実態に応じた保健指導や食育指導を実施する。（月1回以上）</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
今後への改善点

大阪市立 銅座幼稚園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○ 今年度末の教員の1ヶ月あたりの平均時間外勤務時間を24時間以下にする。</p> <p>○ 今年度末の本園保護者アンケート調査の「幼稚園は異年齢や地域の小学校をはじめとした地域の方々との関わりを生かした教育を推進していますか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 働きやすい環境づくりに取り組む</p> <hr/> <p>指標 ・ゆとりの日を週1回設定し、退勤時間までに業務を終えるように意識を高める。</p> <p>・日々の業務を効果的に行うことができているか振り返り改善する。(学期に1回)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 子どもが異年齢の友達や地域への親しみがもてるように、交流・連携活動を進め、小学校への円滑な接続を図ったり、地域に根ざした教育活動を実施したりする。</p> <hr/> <p>指標 ・子どもの実態に合わせた異年齢の関わりを工夫する。(月1回以上)</p> <p>・年間計画に基づき、地域の連携の仕方や交流方法を見直し実施する。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>今後への改善点</p>